

国際平和デー（2015年9月21日）100日前カウントダウンに向けたメッセージ

本日、9月21日の国際平和デーまで残り100日となりました。

世界では今なお内戦や紛争が絶えない中、国連及びその加盟国並びに全ての人々が力を結集して平和の理念を広め、あらゆる手段を用いて世界恒久平和の実現への決意を表す「国際平和デー」は、私たち人類が争いを止め、平和の大切さや尊さを改めて考える重要な一日です。改めて、この「国際平和デー」を強く推し進めておられる潘基文国連事務総長のリーダーシップに心から敬意を表します。

160か国・地域の6,706都市が加盟する平和首長会議では、「国際平和デー」の理念に賛同し、これまで世界各地の加盟都市に呼び掛けを行ってきました。昨年も日本国内はもとより、カナダやアメリカ、アルゼンチン、スイス、ベルギー、フランスなど多くの都市で記念行事が行われ、市民が心を一つにして世界平和の実現を祈りました。2013年8月に策定した平和首長会議行動計画にも「国際平和デー」における記念行事実施を盛り込み、これまで以上に積極的に取り組むこととしています。

この行動計画に則り、今年も日本国内はもとより、世界中の加盟都市に対して、9月21日の正午、それぞれの都市で平和を祈念し、その実現を誓うための時間を多くの人々と共有いただくための啓発活動と呼びかけます。

今年、国連の創設70周年、広島市と長崎市にとっては被爆70周年という重要な節目の年です。この70年間、全ての国、都市の人々が共通して願ってきたのは、争いのない平和な世界の実現でした。

この世界恒久平和の実現を目指し、本日から国際平和デーまでの100日間、私たち一人ひとりができることは何かを考え、加盟都市の市民の皆様とともに行動していきたいと思えます。

最後に、平和を祈る全ての人々の思いが結集し、一日も早く核兵器のない平和な世界が訪れることを祈念して、私のメッセージといたします。

2015年6月13日
平和首長会議会長
広島市長 松井 一實